

平成 28 年度 第 5 回幹事会議事録 要約

開催日時：平成 28 年 9 月 24 日(土) 16 時 03 分～17 時 32 分

開催場所：梅田サテライトキャンパス

成立要件：出席者 23 名（委任状 4 名）、欠席者 0 名（※定足数 20 名以上）

1. 報告事項

(1) 会長

- ・9 月 7 日（水）の学長選挙の結果、新学長に中村康範氏（工学部機械工学科）、副学長に大槻信吾氏（人間環境学部スポーツ健康学科）、高神信一氏（経済学部国際経済学科）が就任された。
- ・9 月 10 日（土）に京都府支部総会出席。支部役員改選で新支部長に大石忠氏（S47・経営）が選出された。

(2) 総務部会

9 月 24 日（土）午後 3 時より部会を開催して、次年度予算削減について検討した。

(3) 運営事業部会

- ・9 月 24 日（土）午後 3 時より部会を開催して、岡山県支部総会の収支報告書、支部長懇談会のアンケート、予算削減の検討を行った。
- ・大阪北摂支部（仮称）設立に向けて、運営事業部の能智部長、弓場幹事、柴原幹事、総務部の高見部長の 4 名と支部設立の協力者との打合わせをする。活動をしていない休眠支部の会計繰越金について調査する。

(4) 広報事業部会

平成 28 年度 9 月卒業者に凡友を発送した。

(5) 選挙管理委員会

選挙管理委員会を 9 月 24 日（土）午後 1 時から開催予定であったが、委員の欠席があり、10 月 1 日（土）に開催の予定である。

(6) 事務局

- ・平成 28 年度 9 月入学生の校友会費 63 万円の振り込みがあった。
- ・入学試験の検定料免除証明申請書は 15 件(9 名分)発行している。
- ・代議員の小畑京治氏がご逝去された。校友会会長名で香典、弔電と供花をした。
- ・熊本地震について、3 名からお見舞金の申請があった。
- ・卒業生社長によるパネルディスカッションについて、キャリアセンターより校友会推薦の井上工業(株)田中氏、枚方市役所里氏の 2 名に出席依頼があった。
- ・大学祭の協賛金について、パンフレット掲載協賛金の契約書に会長の署名をして提出する。
- ・鳥人間コンテストの出場結果の報告があった。

(7) 第 27 回校友会親睦ゴルフ大会

世話人より、9 月 8 日（木）に阪奈カントリークラブで開催したゴルフ大会の報告があった。

2. 協議事項

(1) 校友会テントの運営について

総務部より、大学祭開催日 11 月 5 日（土）と 11 月 6 日（日）の校友会テントの運

営担当者の選出依頼があり、5日（土）は3名の幹事が決定した。6日（日）は1名の幹事は決まったが残りの2名について希望者は事務局に申し出ることになった。

また、同時期に開催されていた「ホームカミングデー」について、中村新学長に開催の問い合わせをしていることが報告された。

(2) 会長・幹事・代議員の次期候補者届けについて

選挙管理委員会の告示内容（次期幹事候補の希望者は次期代議員候補者届と次期幹事候補者届の2枚を同時提出する）について、認識を共有するために協議した。

協議の結果、現幹事で引き続き次期幹事を希望する方は、次期代議員候補者届と次期幹事候補者届の2枚を同時に提出することを確認した。

(3) 校友会経費「各部」の削減（案）について

前回の幹事会において、福井会計長より予算方針の説明と依頼（26年度予算に対して4年間で20%削減を目標に各事業部で削減について検討。）があり、各事業部の削減案の説明について協議した。

総務部の削減案は、会議費の幹事会食事代3,000円/人を2,000円/人にすることで約30万円減、懇親会費70万円を20万円減額して50万円、渉外費慶事を20万円減額して40万円、渉外費関連費用を10万円減額して60万円にすることで約80万円の減額となり、平成29年度予算は前年度比で8.8%の減額になる。26年度予算案が1,080万円だったので、今回の削減案で予算が830万円となり、目標の20%減となる。運営事業部の削減案は、代議員会の交通費を200万円、新入生金券160万円を廃止、他支部参加者助成金を5,000円から3,000円に減額。新入生金券印刷費15万円を削減することで200万円程度は削減できる。

会計長より、現状では約1,900万円になり、26年度予算を比較すると1,690万円程度に収めていただければと補足説明があった。

広報事業部より、20%減にするには予算額がいくらになるのかとの質問があり、会計長より、26年度予算は1,570万円、20%減は1,256万円になるとの回答があった。広報事業部より、現状では会報費と送料のみで1,000万円を超える。今後検討するとの回答があった。

会計長より、総務部と広報事業部は目標を達成できるようである。平成30年度予算では平成26年度予算に対して20%減を達成することが必要である。

副会長より、予算を少し多く削減できれば節約して、新しい事業に投資できるので新規事業に関しても今後検討していきたいとの提案があった。

会長より、学園創立90周年の寄付金については幹事会で諮りたいとの説明があった。

(4) その他

- ・笑福亭三喬さんの独演会（10月29日（土））にお祝いのお花を送ることになった。
- ・激甚災害（北海道、東北）の対応について、5月30日現在で北海道45名、青森10名、岩手6名、宮城16名、秋田17名、福島19名の会員（合計113名）が在住しているとの報告があった。熊本地震と同様に、激甚災害指定地域に在住の会員にお見舞金の申請書を送るとの事務局の提案があり、了承された。また、熊本地震の義援金の残金の取り扱いについては幹事会で検討することになった。

3. 審議事項

- ・特になし。

以上